

事務事業名		勤労青少年ホーム管理事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	勤労青少年ホーム
	政策	02	雇用機会の充実と安定	係	
	施策	02	勤労者福祉の充実	内線電話	8242
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	5款	労働費	未計上	
	項	1項	労働諸費	実施期間	
	目	3目	勤労青少年ホーム費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	勤労青少年	利用者の活動しやすい場として有効に利用していただく。
現状・課題	昭和50年供用開始から40年が経過し、平成25年度に耐震補強工事が完了した。今後は、施設の維持補修による持続管理が必要となる。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市勤労青少年ホーム条例
事務事業概要	施設の維持・修繕を行う。	
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容	
	施設修繕	修繕回数

事務イン プット コスト	項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	予算額	当初予算	円	2,861,000	2,834,000	3,261,000
補正予算		円			—	
合計		円	2,861,000	2,834,000	3,261,000	
	決算（見込）額 A	円	2,306,881	2,834,000	—	
H29は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	144,800	50,000	50,000
	一般財源	円	2,162,081	2,784,000	3,211,000	
	正規職員数	人	0.65	0.65	0.65	
	人件費 B	円	4,297,150	4,294,550	4,294,550	
	総事業費 A+B	円	6,604,031	7,128,550	7,555,550	
	市民1人当たりコスト	円	150	163	174	

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
施設利用者数		増加	目標	12,000	人	12,000	人	12,000	人
			成果	13,149	人	12,522	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値の設定理由	利用者の高齢化・少子化の現状から逡減傾向であるが、公民館・働く婦人の家との総合的利用の中で利用者増を図っていく。								

平成29年度の 実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	上げる
	施設・設備の維持管理に努め利便性を高めながら、利用者の継続的利用を促進する。						

